

カ イ タカシ セン セイ マナ  
 \ 甲斐崇先生と学ぼう! /

★NIEは、Newspaper in Education  
 (教育に新聞を)の略です

# レッツ チャレンジ NIE

小学生 第258回

今週のお題

グラフと記事を読んで答えよう  
 レベル★★★ (高学年)

夏休みが始まったね! 毎日暑いので、こまめに水分補給しながら楽しく過ごしてね。今回のレッツチャレンジは、県内市町村を対象にしたアンケート結果の記事から問題だよ。記事とグラフをよく読んで答えよう。



【1】4月3日に何が発表されたのですか?

( )

【2】外国語による避難情報の伝達ができなかったのは、何自治体ですか?

( )自治体

【3】観光客への避難誘導マニュアルがないのは何自治体ですか?

( )自治体

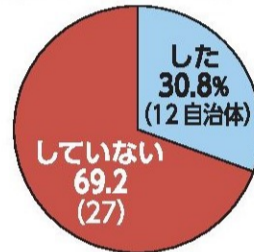
【4】【2】や【3】の状況は何が問題だと思いますか? 記事の言葉を使って説明しましょう。

( )

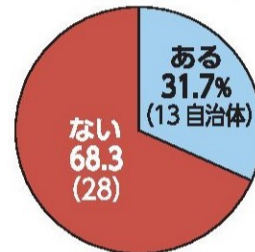
【5】観光立県であり、外国人も多数いる沖縄県では、今後どのような取り組みが必要だと思いますか? あなたの考えを書いてみましょう。

( )

外国語による避難情報の伝達をした市町村  
 観光客の避難誘導を定めたマニュアルなどがある市町村



※南・北・大東村は津波警報が発表されていないため対象外



## 外国語で伝達 12自治体 遅れる津波対応 県がアンケート

県はこのほど、県内市町村を対象に、4月3日に発表された津波警報への対応に関するアンケート結果を発表しました。外国語で避難情報の伝達をしたのは、警報対象外だった南北大東村の2村を除き、39市町村のうち12自治体にとどまりました。観光客の避難誘導を定めたマニュアルがあるのは全41市町村のうち13自治体でした。日本語が通じない外国人や、土地勘の薄い観光客への情報発信という課題が浮き彫りになりました。

県は具体的な市町村名を明らかにしていませんが、小規模自治体を中心に担当者のマンパワー不足などで対応が十分にできていないとみています。

【2024年7月18日付琉球新報総合面】

【1】は覚えているかな。みんな避難したよね。覚えていない時は、記事の1文目を読んでみてね。  
 【2】と【3】は円グラフを見て答えよう。何を聞いているのか間違えないように。【4】は、記事の第1段落を最後まで読むとヒントがあるよ。それに自分の考えも付け加えてみよう。【5】は今後の沖縄県やみんなが住む市町村でどのようにするべきか、アイデアを考えてみよう。



✂️ 切り取ってノートに貼れるよ。挑戦してね!

NIEアドバイザー、西原東小校長。趣味はマラソン、誕生日はエイプリルフール♪